

年 月 日

形成外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「眼窩 blowout 骨折手術における骨折後端を可視化するための内視鏡併用手術の有効性の検討」への協力をお願い

形成外科では、下記のような診療を受けた、もしくは今後受ける患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2008 年 8 月 19 日～2024 年 12 月 31 日の間に、当科において、眼窩 blowout 骨折の手術を受けられた方、もしくは今後受ける方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2025 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：

blowout 骨折は、現在でも、手術をしても眼球運動障害の後遺症を残すことがあります。その原因は、不適切な手術手技による場合もあります。それは可視化困難な狭い眼窩での操作によるところが大きいです。骨折後端が深部に存在する場合、経眼窩アプローチでも経鼻アプローチでも、可視化は困難です。経眼窩アプローチと内視鏡手術を併用することで、不適切な手技を最小化することができると考えています。これにより、後遺症を残す患者さんの減少を達成できると予想します。どのような骨折のタイプ、またどのような術式が内視鏡併用によるメリットがあるか明らかにする予定です。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得する。

術前 CT と骨折のタイプ

術前 Hess チャート

術中画像（内視鏡併用の場合）

術後 CT

術後 Hess チャート

複視の回復時期

自他覚症状

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・

病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 形成外科

電話番号：058-230-6279

氏名：加藤久和

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 形成外科

氏名：加藤久和

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp